



古今
奇談

葉

野

話

・
伍下

1641
6上



門へ 18
1641
巻

古今奇談 野話第五卷下

江口の下

楽藤文庫

媿好^{くわいこう}が娘^{むすめ}い更^{さら}かり人を術^{まじ}をたるとる女^{おんな}れ身^みこそほろしな塔^{たか}て心細^{こころこわ}
き旅^{たび}れ宿^{しゆく}で白^{しろ}妙^{めう}い小^こちち帰^{かへ}り返^{かへ}きんん下^{くだ}せだ酒^{さけ}と湯^ゆで待^{まち}夫^{つま}へ
屋^やをうぬり来^きりて其^{その}顔^{かほ}色^{いろ}樂^{たの}ほど酒^{さけ}を飲^のむ枕^{まくら}にけり白^{しろ}妙^{めう}茶^{ちや}湯^ゆで
何^{なに}火^ひよりと因^よるも長^{なが}き息^{いき}をほぎて諸^{しよ}ろず只^{ただ}睡^ね入^いりぬ人^{ひと}外^{ほか}を白^{しろ}
妙^{めう}いゆりせん其^{その}物^{もの}種^{しゆ}にん成^なはけて宿^{しゆく}で中^{ちゆう}救^{きう}いひりて今^{いま}救^{きう}れ田^{でん}
殿^{でん}と何^{なに}とつ事^{こと}ひもを因^よるも物^{もの}種^{しゆ}を擁^{よう}てきて起^{おこ}言^ごんとして言^いふ
と衆^{しゆ}方^{ほう}洞^{どう}隠^{いん}はほろしひなめと夢^{ゆめ}を肉^{にく}に飲^のんで胸^{むね}とさなる白^{しろ}妙^{めう}いひ
考^{かう}きふちるやとまが膝^{ひざ}に抱^{かか}りて言^{こと}を軟^なめて云^いふ物^{もの}種^{しゆ}に列^{れつ}て二^{ふた}三^{さん}れ経^{けい}の
久^くしきぬあしねども千^{せん}幸^{しやく}一^{いつ}が若^{わか}きをひりてころんいひり火^ひよりぬあもなる
てちぢひなるんをほり守^{まも}り殿^{でん}の身^みの上^{うへ}に懸^か傷^{きず}ありていひそあらず

楽藤文庫



と引出せば内にも一室の匣あり。其中上等の夜明珠、火赤珠、劍玉、鑽
玉、通天犀、人魚膽、鳳珠、龍珠、其價定めぬ。此種をかり。衆人見て皆
其珍奇を称賛す。是を投んて、乃ち押して、ふるも熱く、之を焼く。乃
ち其設わると、灰なり。大に悔み、乃ち自ら忙達し。白妙、宋の船に白ひて、
ちろく罵て云、賊、妾、小を、所、及、と、里、と、出、る、所、に、容、易、の、事、あ、ら、う、べ、人、の、世、を
貪り、恩を割る。仇人、なれ、死、して、汝、が、け、必、ぞ、其、人、を、放、つ、所、也、。其、の
面、と、云、ど、と、も、今、日、其、者、を、方、と、云、ふ、よ、世、は、は、げ、く、よ、善、人、を、有、る、善、の
波、の、を、こ、よ、禁、に、酒、部、の、補、と、云、ふ、人、あり。主、は、く、不、領、と、も、な、く、何、の、不、徳、あ
ら、う、家、業、へ、受、て、人、乃、田、宅、重、寶、な、り、汝、等、と、し、利、を、納、り、て、ま、く
に、夥、し、時、と、我、伯、一、里、も、牙、り、拵、入、り、何、り、人、の、ち、と、ど、と、や、と、入、げ、人、今、公
より、お、め、ら、う、海、賊、の、張、本、なる、事、終、ま、は、し、國、に、よ、お、ま、め、ら、う、乃、ち、経、歴
と、と、せ、な、ら、う、が、定、め、て、け、は、此、所、に、や、い、ら、ん、げ、乃、ち、刀、懸、の、早、く、も、め、る、と、い、て、こ、

とて、若、其、人、か、う、ん、ら、た、わ、る、所、に、行、て、下、す、世、の、や、と、き、り、め、の、ん、や、今、小、を、
廢、志、定、守、情、の、方、に、下、け、や、と、く、何、と、云、く、も、難、け、り、げ、な、き、と、い、て、う、ら、
て、も、か、た、い、ら、ら、め、ら、れ、里、の、姉、妹、の、贈、物、と、假、し、い、ね、ま、と、も、是、を、と、り、
本、願、の、諸、君、都、鄙、の、客、商、の、意、を、得、ら、う、百、寶、も、も、情、人、と、終、身、は、生、活、
と、が、一、か、ね、設、け、た、れ、も、今、こ、め、て、用、め、ら、る、と、い、ふ、我、の、箱、の、中、に、お、ま、め、
情、人、の、眼、中、に、珠、な、り、是、等、を、妾、が、命、の、展、び、る、所、也、妾、と、ぞ、不、烟、た、と、い、
て、い、復、び、看、而、を、送、り、新、と、違、る、の、念、な、り、な、よ、と、い、ふ、の、と、い、へ、命、は、た、る、と、
い、い、一、初、め、の、か、つ、と、妾、の、腹、に、お、ま、め、と、い、ふ、ら、り、衆、人、は、
お、お、ち、ち、蓋、入、つ、て、涙、を、流、し、白、妙、よ、い、ひ、道、を、謝、り、て、す、白、妙、は、
て、は、時、よ、う、と、一、旦、被、服、へ、あ、ら、う、と、い、ふ、人、を、寶、匣、と、抱、き、て、船、に、
た、よ、し、さ、ら、ば、其、船、へ、あ、ら、う、と、い、ふ、人、と、涙、き、ら、れ、向、り、て、跳、入、ら、り、船、中、に、あ、ら、
と、す、白、妙、は、滾、り、て、影、を、か、し、い、よ、是、と、い、て

盛粧躍海目無徒

去處使魂伍綠珠

けやいへき。傍人皆牙をうろもみちる命と笑ひのちる。宋江は海賊と
 言ひつゝいんを殺した。虫の如く出し其死体去つ。南海へ行くと
 見定まらず。大海の沖は船がりともあま。善く海賊宋江と捜ふ徒
 倉に密使國人を殺して船を陸に取らぬ。今れ女が指打つる
 艦頭は紅糸のりとも船ごとく捕てこせや。柴江とて一人を殺す
 ぞ。縛ちて去らぬ。彼は舟の船中より出て大に船入る。心地をりく
 へぐきつゝ悟りてとよ。女が深情をこしきつゝは縁会ひたす。彼は
 浮花の身れ人。我も若く年の浮氣放蕩。彼は狭心死す。我は
 王が儂人。家去りて燕ふ。我もろり人。適世をくせはやく
 人よ笑ひもせん。父の不貞を控て家より去る。右刀刀万れ調た
 を出し時のさぬふりつと古のふくまは。あふりふちを命がぬ。河とつ

孫父方も何とやん。比冬い年の衰をきて。老の扱は。騏驎も嗜む。
 戀のふたれ孔子倒へ。男もあきこと。一旦のいろ。解糸のとう上國
 の人よ。かたして俗情を疏く。ぬを恨む。おが家務をゆぐる。司本知じむ。
 叔山序の熱官成。復ふちる命が。其後信をりたといふ。とよ。内。我も
 國はゆりの朝きつゝりて。大おれ岸は。船にゆりつゝ。さ。海のか刀とぬ。
 落しう。おかりな。家の侍。あがて。ゆさ。せす。漢人とや。ひ。揚で
 り。あ。さ。海の外。よ。一。箱と取あげ。是。俱。よ。い。旅。せ。お。り。と
 ち。いて。さ。げ。ら。り。成。獲。い。ら。る。ど。と。開。ら。き。つ。た。は。皆。夜。光。珠。の。お。う。て。
 一。角。魚。膽。鳳。塚。龍。珠。も。あ。は。ち。る。守。不。房。を。價。珍。寶。た。り。彼。漢。人。袋
 美の酒を酔て。成つゝ。あ。額。だ。れ。其。松。女。の。動。作。我。は。口。の。白。ゆ。や
 として。お。ち。り。お。始。終。を。遂。げ。ら。ぬ。無。江。が。悪。心。を。こ。え。ら。ぬ。わ。我。も。ち。り。あ。乃
 んと。つ。ん。あ。ふ。す。金。銀。お。り。や。め。つ。た。君。も。つ。ら。ま。情。体。さ。ら。り。て。速。く。其。殺。て

英中...

そらへて事成就せり。是と謝せん。いま漁人ト托して百寶と
致と。聊美意と酬ゆと。ひらひの詞づる女の侍り。他事とる人醉言
し。乃る。成儀。白妙が靈かり。心成て。寶貨をうけぬ。水陸を設け。信養
して。幽魂を慰し。乃る。痴た。されば。情し。あはれ。死なば。使し。あはれ。と。い。信養
を。致。文。を。の。て。は。あ。人。の。身。より。あ。ま。り。世。の。風。月。と。せ。よ。め。は。一。篇。を
看破て。情の。あ。る。不。真。の。さ。ゆ。り。を。知。る。人。の。笑。い。を。養。ぬ。戒。も。あ。ら。じ

九 宇佐養宇津宮世祢を飾て敵を討詰

南朝中務親王の沖子兵部卿尹良親王の遠州と所誕生あり。後
吉野へあり。むして元中三年大將軍を賜て。應永四年。新田源田。桃井
其外の宮方相議して。上野國に。遣へり。所。山。川。十一家の人を供奉し。
駿河國富士が谷田。費次。多。が。鑑。入。せ。れ。よ。り。て。宇。津。の。親。王。と。呼。ぶ。る。
い。田。費。が。女。子。の。新。田。義。助。の。妻。室。か。り。し。は。其。好。と。よ。る。人。富。士。十。二

郷の諸士。服屋殿の意。好と。ね。と。て。味。方。と。あ。り。守。護。し。な。る。同。人。も。甲。州
武田右馬助。鑑。入。ら。せ。む。い。そ。け。り。上。州。寺。尾。の。城。小。後。り。も。其。間。合。戦
度。こ。い。か。ふ。同。三。十。年。寺。尾。は。伊。子。良。王。を。強。し。一。夜。内。外。に。信。濃。國。宇
孫。六。郎。の。城。と。り。の。り。其。翌。年。冬。河。國。足。助。と。後。ら。せ。む。乃。中。並。合。の
大河原。と。て。飯。田。ち。ち。弱。場。次。と。二。百。餘。騎。と。て。侍。請。ふ。と。小。島。と。て。支。へ
な。る。宮。方。命。と。と。て。我。い。飯。田。弱。場。と。お。れ。れ。れ。も。味。方。小。島。田。羽。川。徳
谷。と。始。め。小。島。討。死。して。士。卒。も。散。く。し。か。り。終。り。れ。ば。宮。の。が。れ。が。し
と。ら。て。在。家。へ。つ。と。む。い。火。を。放。て。ほ。生。害。あり。其。後。の。良。王。も。寺。尾
に。は。座。堅。ま。り。て。桃。井。が。落。合。の。城。と。後。り。も。其。折。る。尾。州。津。を。あ。ま
橋。保。某。の。尹。良。王。の。姻。属。か。れ。む。け。方。へ。入。り。せ。む。と。し。こ。り。る。各。お。決
して。乃。の。便宜。を。あ。み。甲。斐。信。濃。を。懸。り。あ。し。ま。ふ。比。計。け。飯。田
が。二。旅。足。を。討。れ。る。弱。場。と。は。供。養。の。軍。也。と。多。勢。と。そ。ら。へ。て。龍。巻。身

其の中... 後編... 五

武州 徳川 信長 巻之五
不。推井貞綱ふとどはり討たし。良王其ひまふ。洛のび少い
苗吹作とことせむ。び。敗率等逃にき。又逃に。加勢と
して。ある人殺りて。二百斗。いかりぬ。から。津島。大橋氏。より。四途
とて。常川。信矩。二百の人殺し。て。あり。合せ。れば。味方。も。生。あ。る
か。地。と。是。を。ま。て。釣。場。飯。田。も。上。枚。今。川。も。若。て。加。勢。を。乞。ひ。を。通
信。を。ま。ち。軍。と。固。て。た。め。い。ひ。ら。る。上。枚。今。も。あ。る。き。の。風。上。宮
方。へ。早。く。回。道。より。津。島。立。城。人。と。い。ふ。人。の。も。多。う。し。に。宇。津。宮。友。綱
衆。人。と。い。ひ。て。し。や。ぬ。ぬ。あ。つ。き。を。ま。さ。の。み。に。し。た。り。し。出。来。て
先。公。の。所。難。い。来。揃。と。れ。し。原。田。桃。井。忠。死。あり。新。田。義。則。入。道
仍。捕。ち。れ。玉。の。味。方。の。大。事。い。時。小。追。り。あり。あ。る。に。是。を。合。然
の。や。う。と。る。ら。ぬ。及。れ。間。の。び。ん。く。と。の。を。て。敵。を。お。へ。さ。し。理。を
た。さ。す。強。念。の。い。ふ。ね。ま。な。り。今。日。此。所。と。逃。は。り。て。津。島。上。ゆ。げ。友

軍をこのあなごう。乃のあごも敵たなり。石れ卵を。歴。ひ。と。さ。し。と。さ。く
責。し。て。合。力。し。も。大。橋。殿。は。て。扱。け。り。の。も。其。末。の。様。し。も。大。き。に。也
を。い。ま。さ。は。其。所。戦。じ。し。を。し。ま。さ。新。田。先。も。く。文。を。力。の。も。あ。り
て。此。方。より。あ。り。な。り。て。は。は。い。し。も。く。し。り。て。勝。き。負。と。さ。る。あ。り
今。及。の。君。氏。所。追。ひ。の。人。上。侍。奉。さ。せ。先。へ。し。り。し。や。せ。げ。面。も。さ。う。近
き。石。原。を。暴。て。勢。を。う。り。飯。田。釣。場。居。あ。一。攻。り。を。り。し。を。追。ち。れ。其。ひ
ま。へ。は。り。よ。た。ぬ。し。待。り。け。て。彼。も。あ。り。十。分。の。勝。を。た。ど。も。互。橋。の。戦。ひ
ひ。く。べ。大。に。敵。の。氣。を。折。く。べ。一。至。合。の。軍。の。味。方。に。戦。上。志。た。り。敵。の。衆。の
の。地。よ。不。意。と。お。て。我。軍。と。若。り。ら。り。わ。り。の。ど。免。其。か。し。て。我。り。げ。後。綱。の
た。の。て。十。上。の。勝。べ。し。十。上。の。互。橋。の。軍。で。ん。と。さ。り。諸。君。も。是。を
と。じ。と。い。何。も。軍。機。よ。測。り。難。か。ら。ば。皆。を。因。り。ま。す。今
川。乃。勢。釣。場。と。助。ら。う。と。い。ひ。な。ら。ぬ。い。は。し。て。防。ぐ。ん。と。云。う。佐。友。右。衛。門。守。頼

○英州府後編卷之五十一



○英州府後編卷之五十一





陸つゝるもの。那燈の籠る船を大おと告あつた。宇佐原守津
官の勢を率して二艘の快船の合圍の笛報早拍子とてせて燃焼
の船を同わたる向へ十一家の船灯籠を燈とせりや早拍子合せて
集り元より肌具堅固の船を其屋尻が船と其申されりて大お
士卒をちなく悉く海に切沈め其時上艘同音上。屋尻をみさ
いふととや一なる。屋尻が強きの兵船後よりとて早拍子の大變
あつてとてたぐひと招あひ今いせつてつる。面目なりとて家のより
一變して三百餘人岸よりあつてつる。城よりとてせげども夜
軍にかりて敵はよくつらむきさびくとて其國よりつて城に折て入
る城に逃げりてこの郭へ士卒を引んとあつてとてせげども
と進む三百餘人あつてつる及臨を海に波の四よたつとつと
大橋中務兵を下つて懸りしりあつてつる。つらむきの河の四よ自

殺して失りるぞとげりつ。屋細宇佐原の機をとり守船とせ
其屋尻が居城に逼り。諸大お後詰して一時よあつて。早く土地の仕
と出り捷を津浦に秋どつる。助勢をがき場とつてつて逃れ
る。早より再びも出さる。官の伊左衛門の奥旺し。有朝の
餘音にけりし。屋尻をみさといふ。早拍子お乃とつる。つらむ
も。久き世の調なりん

古今奇談解野話 第五之下巻 大屋

古今
奇談

英草紙前編

全部五冊
先達石出

明和三年丙戌年正月

江戸

通本町三丁目

西村源六

心舟橋筋須慶町

柏原清右衛門

大坂

月通り小久左衛門

山口屋又一郎



